

コロナ・インフル同時流行に備えて

今年の冬は季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症が同時に流行する可能性があり、注意が必要です！
平常時からの感染予防に取り組みましょう。

平常時の対策（感染者なし）

■こども達・職員が感染しないために 感染拡大前の予防接種勧奨

新型コロナウイルスワクチン、インフルエンザワクチンを接種することで、重症化を予防することができます



登園登校前/出勤前の体調確認

日ごろから体調確認をし、小学生以下の子どもが発熱等の体調不良がある場合には、電話で相談のうえ、速やかに発熱外来やかかりつけ医を受診できるようにしましょう
 職員は、出勤前に普段と異なる症状があれば必ず報告し、出勤しないことを徹底しましょう



基本的な感染対策の徹底

ワクチン接種後も「マスクの着用※」、「手洗い」、「換気」などを徹底します
 換気は2方向換気を実施し、CO2濃度は“1,000ppm以下”を目指しましょう

※2歳未満のこどもには、マスク着用は推奨しません

※2歳以上の就学前のこどもには、マスク着用を一律には求めません



てをあらおう



かんきをしよう

3つの密



時間・空間を分けて行動する

時間差を設けたり、少人数単位で活動することで密接・密集をへらしめます

密な接触時はフェイスシールドやゴーグル等を活用

感染のリスクが高い食事介助等を行う職員は、感染予防対策を行いましょう



登園・登校後にコロナ、インフル様の症状がある(感染症の可能性あり)

■ほかの子ども達・職員に感染をひろげない

対応する職員をわける

新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスは、接触感染します
 体調不良のこどもの唾液や鼻水、便にはウイルスが含まれていると考えて、
 マスクやフェイスシールド(もしくはゴーグル)をして対応しましょう
 こどもの症状の有無によって、対応する職員をわけましょう



対応する空間をわける

新型コロナやインフルエンザは、飛沫感染します
 体調不良のこどもが声を出したり、咳をしたりすると、
 ウイルスが含まれる飛沫がとびだします
 体調不良のこどもが帰宅できるまでのあいだは、
 ほかのこどもと別の部屋で待機させるようにしましょう



未就学児と小学生については受診を勧める

小学生以下のこどもは重症化リスクが高いため、電話で相談のうえ、
 速やかに受診するように保護者へ勧奨しましょう
 症状や経過を正確に保護者に伝えましょう

※中学生以上の重症化リスクがない方は、新型コロナ抗原定性
 検査キットでセルフチェックすることが推奨されています

※受診を迷った場合、#7119(救急要請相談)、#8000(こども医療相談)、
 神戸市新型コロナウイルス専用健康相談窓口(078-322-6250)等をご利用ください。



園内・校内で情報共有する

同様の症状があるこどもや職員がいないかどうか注意深く確認します
 園内・校内で情報共有し、症状があれば受診やセルフチェックをします